

地域資料からみる「ロシア」とふくおか

福岡県立図書館デジタルライブラリ「長崎警備の絵図」から



福岡県立図書館キャラクター
「ふつきよん」



制作：福岡県立図書館 青木 三保

福岡県立図書館デジタルライブラリ
「長崎警備の絵図」よりNo.4、No.9



先生方へ ①

福岡県立図書館は、郷土資料としては主に近代のものを中心に収集していますが、福岡県指定文化財の『筑前国産物帳』はじめ、近世以前の資料も所蔵し、「福岡県立図書館デジタルライブラリ」で公開しています。

今回のワークショップでは、近世以前の資料の中から「長崎警備の絵図」を用いてこの数ヶ月ニュース等で目にするが多くなった「ロシア」という国と福岡の関わりについて調べたいと考えます。

「長崎警備」をテーマに、①郷土福岡を「見て、調べて、学ぶ」こと、
②他機関の資料との比較を通じて「ロシア」を知ること を目標とします。

「福岡県立図書館デジタルライブラリ」とは・・・？

福岡県立図書館
デジタルライブラリ

こちらからご覧ください

<https://frc-odeoc.frc.co.jp/WJ11C0/WJ502U/4000115100>

福岡県は、九州と本州をつなぐ要地として
またアジアの玄関口として古くから栄え
貴重な郷土資料にあふれています

県民の文化遺産として
福岡県立図書館が収集した
貴重な資料をご覧ください

シーボルト資料

※ご覧いただける資料の例です（今後追加予定）

『筑前県産物誌・絵巻物』
『筑前国続風土記』
『黒田家譜・黒田家書』

福岡県の災害資料

福岡県近世・近代地図

二次利用可能な資料もあります
詳しくは「利用規定」をご覧ください

福岡県立図書館
Fukuoka Prefecture

福岡県立図書館
デジタルライブラリ
ふくおか資料室

～デジタルライブラリ資料のご紹介～

シーボルト資料『日本動物誌』（“Fauna Japonica”）
（デジタルライブラリシーボルト資料＞『日本動物誌』）


ルリビタキ

シーボルトは、日本で収集したたくさんの標本を本国オランダへ送り、1833年から1850年にかけて美しい図版を豊富に収録した『FAUNA JAPONICA』（日本動物誌）全八巻を発行しました。
その内容は、平賀蘭風（1833～1850）、鳴乳動物誌（1842～1844）、鳥類誌（1844～1850）、爬虫類誌（1842～1844）、魚類誌（1842～1850）と分かれており、約820種の動物を4000点を超える図版を加えて紹介しています。
当館所蔵本では、鳴乳動物誌と鳥類誌が全巻製本されていますので、内容は全冊巻の豪華な装丁になっています。デジタルライブラリでは、図版が収録されている動物の一覧をご覧ください。

『藩治時代の各藩色別』
福岡県議会事務情報『藩政研究資料』明治編上巻（福岡県議会、1992年）附録
（デジタルライブラリ＞近代以降のふくおか＞福岡県の近代地図）

藩政研究が実施される前、明治4（1869）年当時の藩治域を色別で表した地図です。明治4（1871）年7月の廃藩置縣時、現在の福岡県域には、筑前に福岡・秋月の2藩、筑後に久留米・柳川・三池の3藩、豊前には豊前・千早・中津の3藩と、物立郡に対馬（厳原）藩・中津藩の飛地などがありました。
明治2年の藩治域を示したこの地図に記されている「豊前」藩は、慶応2（1866）年に藩庁を田川郡香春に後遷させた小倉藩が呼んでいた藩名で、豊前藩はのちに藩庁を中津郡経路に移し、経路の地名を豊前と改め、藩名も豊前藩に改称しています。

『八女郡水害誌 昭和二十八年』
編者 荒巻ノ編 八女郡町村会
（デジタルライブラリ＞近代以降のふくおか＞福岡県の災害資料＞昭和28年水害）

昭和28（1953）年4月に起こった西日本水害は当時の八女郡地区にも甚大な被害をもたらしました。
被害の状況、救助対策や高滝直田の犠牲などが、被災状況の写真とともに約300頁にわたり詳細に記述された貴重な資料です。
おかげには、実証時代の水害誌に付して「おかげ長き目から私達を守ってくれるための親の死生」であったと評し、それら過去の文庫の内容を検討しなかつた後悔がつけられています。後世に伝えるべき資料として、デジタル化を行いました。

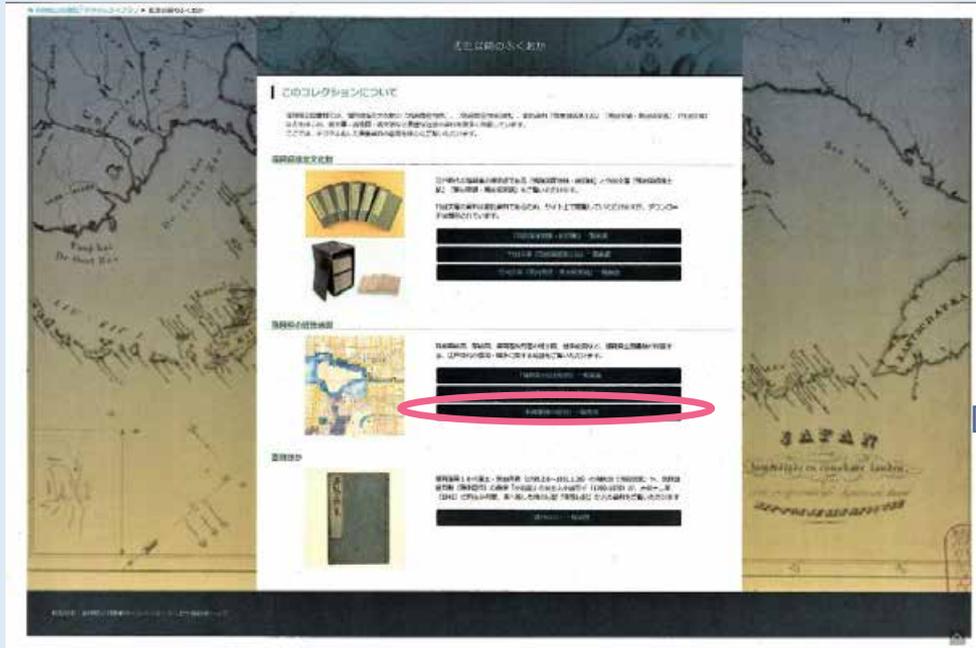


作成：福岡県立図書館
ふくおか資料室

お気軽にお問合せください！

「長崎警備の図」について

福岡県立図書館デジタルライブラリ > 近世以前のふくおか



★「長崎警備の絵図」14点のうち、半分以上がロシア使節の来航に関するものである。

福岡県立図書館デジタルライブラリより <https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/home/4000115100/topg/theme/kinsei/nagasaki.html>
「長崎警備の絵図一覧」

福岡藩 長崎御警固之図 四

☆
判読できる人名を
検索してみましょう。
長崎警備とは別の
古文書等に記載さ
れていることもあり
ます。

各々の船に
付された人
の名前。何
処の誰なの
だろう？



ロシアの船はど
れとどれだろう？
小さな船の役割
は何だろう？

☆
船の脇に名称(役割)が付記
されているものがあります。
すべては読み解けなくても、
言葉か推察してみましょう。

魯西亞人梅ヶ崎昆布蔵え上陸之間魯西亞船之番並固船之図

この絵図はどんなシチュエーションを描いているのだろう？

☆
判読できる人名を検索してみましょう。
長崎警備とは別の古文書等に記載されていることもあります。



絵図に書かれた文字を読んでみよう。
陸地の施設は何だろう・・・？

☆
船の脇に名称(役割)が付記されているものがあります。
すべては読み解けなくても、言葉が推察してみましょう。

そもそも「長崎警備」とは・・・？

福岡市博物館のホームページ、企画展示アーカイブズの、「長崎警備と福岡藩1」を読んでみましょう。

福岡藩は、2代藩主黒田忠之の治世の頃、外国に開かれた幕府直轄の貿易港長崎の警備を命じられました。この警備を、福岡藩では「**長崎御番(ながさきごばん)**」と称して、佐賀藩と一年交代で任務に当たりました。

江戸時代、「**島原の乱を最後に国内では幕末まで戦乱がなくなった中、福岡藩は、長崎警備を通じて常に実践に備えていた特殊な藩**」だったことがわかります。

引用資料: 福岡市博物館 アーカイブズ 企画展示No.084
「長崎警備と福岡藩1」

<http://museum.city.fukuoka.jp/archives/leaflet/084/index.html>

「長崎警備」とロシアについて

福岡市博物館のホームページ、企画展示アーカイブズでさらに「ロシア船来航と長崎警備」を読んでみます。

「鎖国」政策をとっていた江戸時代も後期になると、ロシア、イギリス、アメリカなどの欧米諸国が東アジアに進出してきました。特に、ロシアは蝦夷地(現北海島)に使節を派遣するなど、積極的に日本に通商を求めます。

福岡藩は、**文化元(1804)年のレザノフ**、**嘉永6(1853)年にはプチャーチン**と、二度のロシア使節来航を警備しました。第11代藩主 黒田長溥(くろだながひろ)は、プチャーチン来航の際、自らがその任に当たりました。

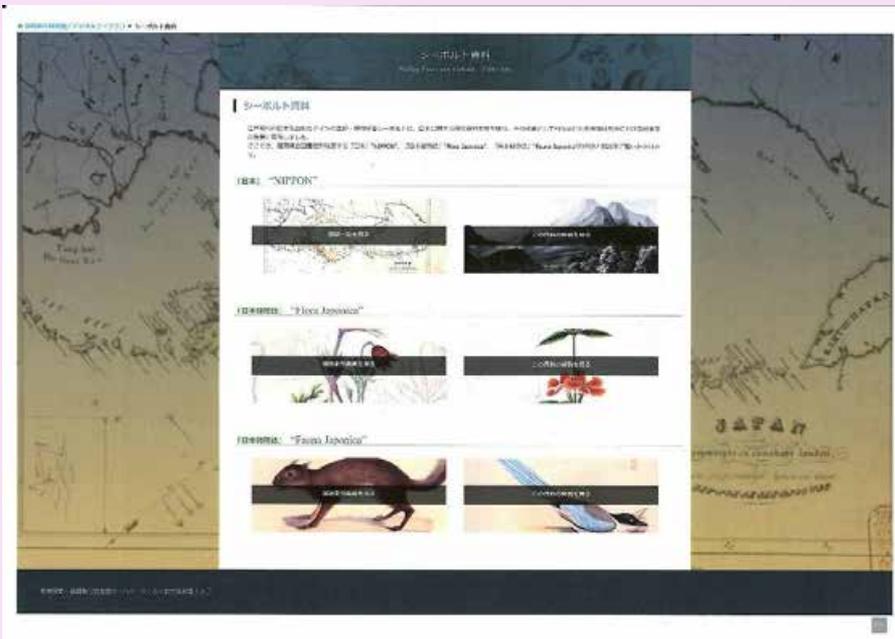
引用資料: 福岡市博物館 アーカイブズ 企画展示No.100
幕末の福岡2 「ロシア船来航と長崎警備」

<http://museum.city.fukuoka.jp/archives/leaflet/100/index.html>



❀ 閑話休題 ❀

福岡県立図書館の「シーボルト資料」について



ここで、福岡県立図書館が所蔵する貴重資料「シーボルト資料」をご紹介します。

福岡藩の第10代藩主 黒田斉清(くろだなりきよ)及び第11代藩主 黒田長溥(くろだながひろ)は、長崎警備を通じて、長崎・オランダ商館のドイツ人医師、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと交流がありました。ことに、黒田斉清は、文政11(1828)年に世子長溥とともにシーボルトを訪問して、海外の動植物について会談するほどでした。(この際の間答は、同行した家臣の蘭学者安部竜平の著書『下問雑載』に詳しい。)

福岡県立図書館では、所蔵する『日本』“NIPPON”、『日本植物誌』“Flora Japonica”、『日本動物誌』“Fauna Japonica”の図版と解説をデジタルライブラリで公開しています。

❀ 閑話休題 2 ❀

「黒田斉清(くろだなりきよ)」と「黒田長溥(くろだながひろ)」



「長崎警備の絵図」にある
レザノフの来航は文化元
(1804)年。
黒田斉清の代ですね。

国史大辞典

黒田斉清

くろだなりきよ

一七九五 - 一八五一

江戸時代後期の筑前国福岡藩主。初名長順。楽善堂と号す。寛政七年(一七九五)二月六日福岡城内に生まれる。父は斉隆、母は渡辺氏。父斉隆の死により同年十月、一歳にして福岡藩主となる。文化五年(一八〇八)従四位下侍從に叙任、備前守となり、斉清と改む。文政十二年(一八二九)左近衛少将に任じ、天保五年(一八三四)致仕して長溥に家督を譲った。蘭学とくに本草学に精しく、富山藩主前田利保と並び称された。蒐集した標本や画図は数百種に及び、江戸の本草学者栗本瑞仙院・桂川甫賢らと交わった。また長崎の警備を命じられていた関係から、トウワフ・シーボルトらとも親交があり、文政十一年には世子長溥とともにシーボルトを訪問して、海外の動植物について会談している。このときの問答は、同行した家臣の蘭学者安部竜平の著書『下問雑載』に詳しい。致仕以前から眼を患い失明したが、異草奇木を贈る人があれば手で摸索し、香臭をかいでその品種をあてたという。嘉永四年(一八五一)正月二十六日、江戸桜田の屋敷で没す。五十七歳。墓は東京都港区南麻布の天真寺にある。法名は乾庵院殿利山道見大居士。著書に『駿遠信濃丹波鑑』『鷲経』『本草啓蒙補遺』などがある。

【参考文献】

『黒田新統家譜』、福井久蔵『諸大名の学術と文芸の研究』

(柴多 一雄)

JapanKnowledge Lib

コンテンツ | 使い方 / サ

日本大百科全書 (ニッポニカ)

黒田長溥

くろだながひろ

[1811—1887]

幕末の福岡藩主。文化(ぶんか)8年3月1日、薩摩(さつま)藩主島津重豪(しげひで)の九男として江戸高輪(たかなわ)邸に生まれる。1822年(文政5)12歳のとき黒田斉清(なりきよ)の養子となり、34年(天保6)藩主となる。藩政改革に力を入れ、また蘭学(らんがく)を好み文政(ぶんせい)期には斉清とともに長崎でシーボルトに会見。ペリー来航に際しては幕府の諮問に答えて開国を主張した。62年(文久2)公武周旋のため上京。64年(元治1)禁門の変後は幕府と長州藩との軋旋(あっせん)に努めたが、65年(慶応1)加藤司書ら勤王派を弾圧、以後佐幕的立場をとり明治維新を迎えた。69年(明治2)59歳で隠居。明治20年3月7日東京で没した。77歳。

[柴多一雄]

©Shogakukan Inc.

出典: ジャパンナレッジ(2022.7.21 閲覧)



先生方へ ②

福岡県立図書館ライブラリの「長崎警備の絵図」を見ながら、長崎警備の様子を推察したり、地元の博物館のホームページで「長崎警備」と「ロシア」を調べたりすることで、福岡藩とロシアの関係について学べたかと思えます。

また、福岡藩とシーボルトの交流が福岡県立図書館が貴重な「シーボルト資料」を所蔵する由縁です。福岡藩にとって「長崎警備」が重要な意味を持っていたことも理解していただければ嬉しいです。

次頁からは、他機関のデジタルアーカイブで公開されているレザノフの長崎来航を見ていきます。

他機関の資料にみる ロシア使節レザノフの来航 ①



国立公文書館のデジタルアーカイブには、「長崎警備の絵図」に登場したレザノフの長崎来航について、その顛末がわかりやすく書かれています。

また、「絵図」にはないロシア人の姿や色鮮やかに描かれた船を「絵図」と比べてみましょう。





福岡県立図書館「長崎警備の絵図」の「梅ヶ崎上陸之間御備図 八」（部分）



国立公文書館デジタルアーカイブに描かれたロシア船。右の福岡県立図書館のロシア船と比べてみましょう。

この人は何？

ロシアの国旗は今と同じかな？

他機関の資料にみる ロシア使節レザノフの来航 ②

九州国立博物館の[アーカイブ]

いにしへの旅では、「レザノフとお雛さま」というタイトルで、約七ヶ月間長崎に滞在したレザノフが帰国の途につく様子が、警備の描写とともに書かれています。

国と国との交渉は失敗に終わったが、長崎に滞在したレザノフと人々の心温かな交流が行われたとあり、今までみてきた資料とはちがう視点です。

参考資料：九州国立博物館[アーカイブ] いにしへの旅：No.01,「ロシア船長崎出航の図(亜魯西亞船湊下図)」

https://www.kyuhaku.jp/museum/museum_info04-01.html



亜魯西亞船湊下図九州国立博物館所蔵、ColBase収録、CC BY。
https://colbase.nich.go.jp/collection_items/kyuhaku/

他機関の資料にみる ロシア使節レザノフの来航 ③



福岡県立図書館デジタルライブラリ
「長崎警備の絵図」一覧より「福岡藩御非番年御備並佐賀藩御警固之図」

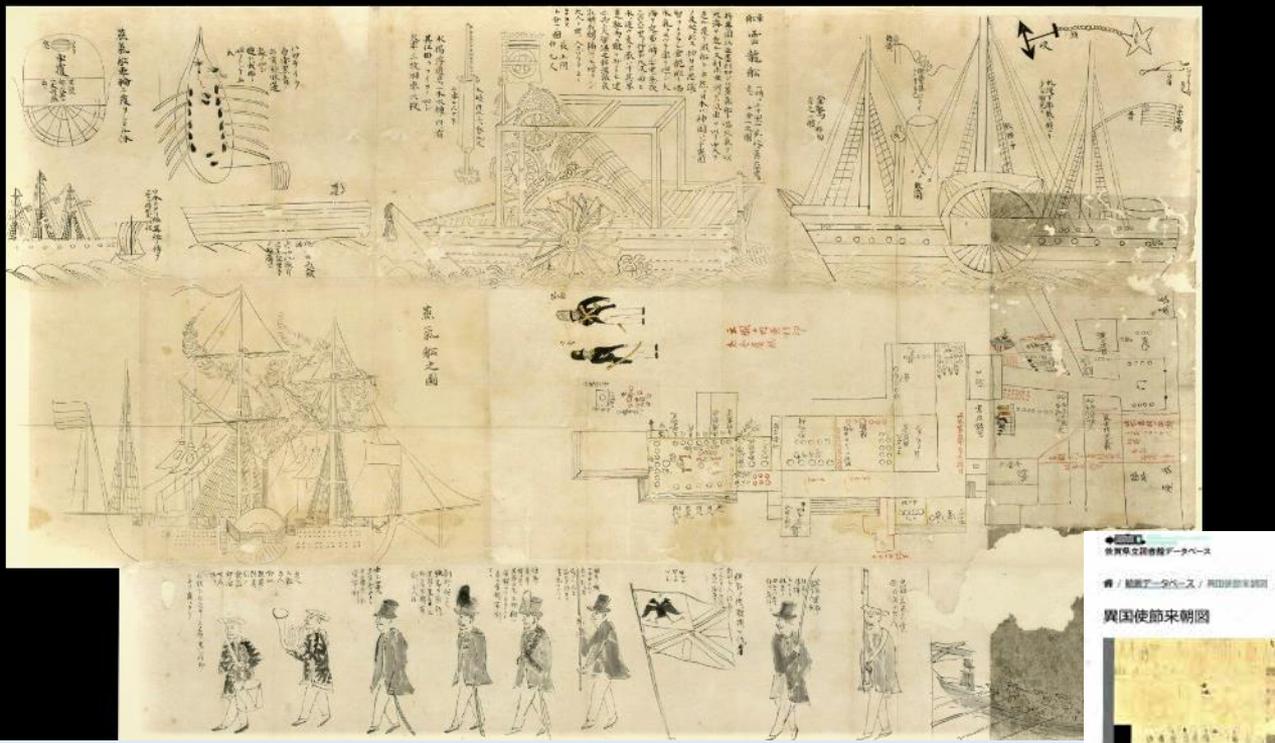
https://www.kyuhaku.jp/museum/museum_info04-01.html

【デジタルライブラリ解説】

当番年にあたり戸町と西泊両番所を固める佐賀藩と、非番のため長崎港外側の台場を固める福岡藩の様子が描かれています。

「御番所御矢来之外諫早兵庫出張、十一月十七日魯西亜人梅ヶ崎上陸之日計り二有之候事」などの注記があるところから、文化元年ロシア使節レザノフ来航の際のものと思われる。

長崎警備は福岡藩と佐賀藩の一年交代制。
佐賀県に資料はないのかな？



佐賀県立図書館にもありました！

ロシア船の構造が詳細に記されています。今まで見てきた絵図と比べてみると面白そうですね。

佐賀県立図書館データベースより
 「異国使節来朝図」
 ※蒸気船（雲竜船）の構造及びロシア使節団一行と使節引見の間見取図、手書

https://www.kyuhaku.jp/museum/museum_info04-01.html

佐賀県立図書館データベース

異国使節来朝図

請求番号	全0761
資料名	異国使節来朝図
地域区分(地域)	九州
地域区分(県)	長崎
地域区分(市町)	長崎市
加筆日(year)	71
加筆日(day)	114
作成者	匿名
年代範囲	江戸後編
年代時期	-
備考	蒸気船（雲竜船）の構造及びロシア使節団一行と使節引見の間見取図、手書

※ファイル名は任意で、最大3MB、*14.3MB以内
 ※ファイルサイズを超過の際は、ダウンロードしてください。



絵図や展覧会の解説ではない資料も読んでみましょう。
ただし、
資料の性質を理解して、書かれていることが事実かどうか、
他の資料と併せて判断するのがよいですね。

参考資料; 国立国会図書館デジタルコレクション
『ロシア侵寇三百年』(昭和14年)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1239783>

他機関の資料にみる ロシア使節レザノフの来航(番外編)

国立国会図書館デジタルコレクションの中に『ロシア侵寇三百年』
という資料を見つけました。

著作権許諾の上公開の資料なので、使用する場合はあらためて
手続きが必要です。

国立国会図書館デジタルコレクション
『ロシア侵寇三百年』(昭和14年)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1239783>





先生方へ ③

他機関の「長崎警備」と「ロシアの来航」に関する資料を見たり読んだりすることで、当時の長崎警備やロシア使節が来航した際の様子がより生き生きと感じられるようになったかと思います。

特に、九州国立博物館のアーカイブ「レザノフとお雛さま」では、これまで日本側からみてきたロシアの来航を、レザノフが著した『日本滞在日記』の視点で想像・理解することができたのではないのでしょうか。

「長崎警備」「ロシア」と郷土ふくおかについて、それぞれの意見を交わしていただければと思います。さらに学びを深めるための資料を挙げておきます。

福岡藩の長崎警備(ロシア来航)についてもっと知りたいときは...

レザノフ来航時の藩主・黒田斉清による海防論。長崎警備のことも書かれているかな。

近世の書冊ほか一覧画面

- 画像をクリックすると高精細画像をご覧いただけます。
- タイトルをクリックするとその資料の目録をご覧いただけます。
- 表示項目を対象にキーワード検索が行えます。「キーワード」欄に入力した内容に該当する資料だけが表示されます。

10 件表示 キーワード:

前 1 次

5件中1から5まで表示

No*	画像	タイトル	年代	作成者	形態	サイズ	備考
1		海寇防策	天保2年	黒田斉清 著、 安部龍平 (蘭 圖) 編	和本 (写 本)	24cm×16.4cm	福岡藩第10代藩主・黒田斉清(1795.2.6～1851.1.26)の海防論です。
2		下関雑載	文政11年	安部龍平 (蘭 圖) 編	和本 (写 本)	26.5cm×18.5cm	福岡藩第10代藩主・黒田斉清(1795.2.6～1851.1.26)とシーボルト(1796.2.17～1866.10.18)の問答集です。

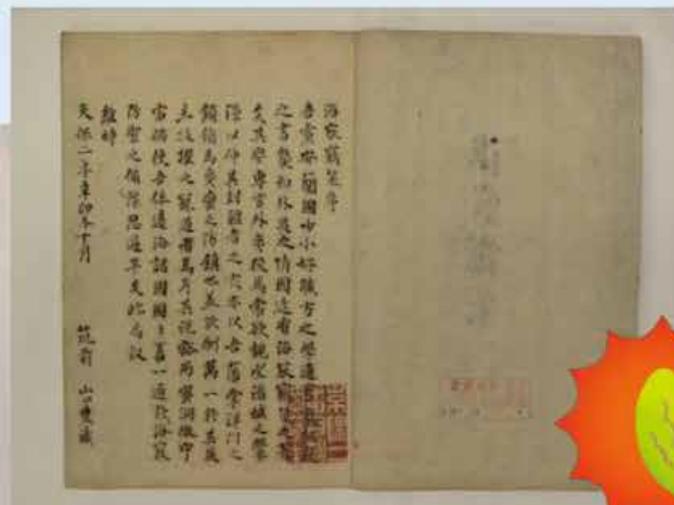
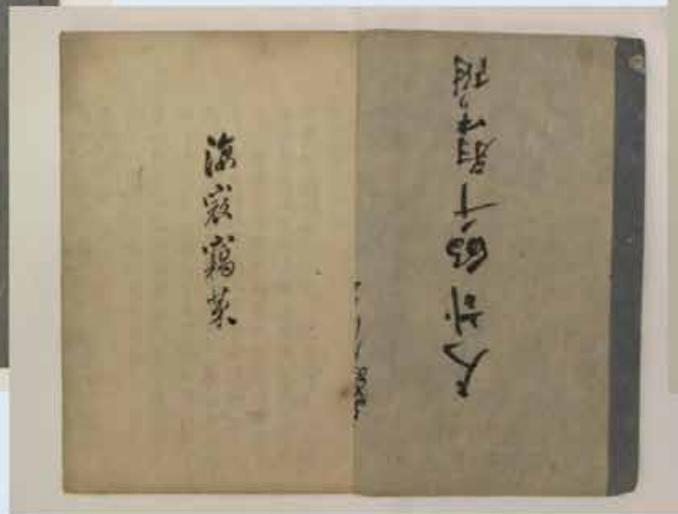
第10代藩主・黒田斉清とシーボルトとの問答集。二人が知り合うきっかけとなった長崎警備は、福岡藩にとって大きな意味があったんだね。



福岡県立図書館デジタルライブラリ 「近世の書冊ほか一覧画面」

https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/home/4000115100/top/theme/kinsei/kinsei_syosatsu.html

『海寇窃策』を読んで(見て?)みよう! Let's Challenge !!



今はむずかしい
けどいつか調べて
読もう!

福岡県立図書館デジタルライブラリ 「海寇窃策」

<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/UniversalViewer/4000115100/4000115100100030/kaikosessaku#c=0&m=0&s=0&cv=0&r=0&xywh=-583%2C-131%2C4271%2C25911>



先生方へ ④

「長崎警備」「ロシア」と郷土ふくおかについて、さらに学びを深めるための資料として、福岡県立図書館デジタルライブラリに掲載された書冊2点を紹介しました。いずれも第10代福岡藩主・黒田斉清によるもので、長崎警備の経験から著した『海寇窃策』とシーボルトとの問答を記録した『下問雑載』です。

学校の授業として読んでいくのは難しいかと思いますが、興味を持ってくれる生徒がいたら嬉しいです。また、福岡県立図書館デジタルライブラリが、シーボルト資料、長崎警備の絵図、書冊等長崎警備ひいては江戸時代の外交に関する資料を豊富に掲載していることも知っていただければ幸いです。

地域資料からみる「ロシア」とふくおか

いかがでしたか？どう思ったかまとめてみましょう



そんな時は図書館へ！
図書館では調べもの
お手伝いをしています。



福岡県立図書館デジタルライブラリ
「長崎警備の絵図」よりNo.4

もっと知りたいな・・・
どんな本を読めば
いいのかな？

